

おたる市議会だより

Otaru
City Council
Newsletter



第 104 号

発行／小樽市議会 編集／小樽市議会広報委員会
小樽市花園2丁目12番1号 TEL 22-2847 FAX 22-2315

令和8年5月1日発行

議会防災訓練（模擬オンライン会議）を実施



議会の動き

- 1月21日 議会運営委員会
- 1月23日 議会運営委員会、本会議
- 2月18日 議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会
- 24日 本会議
- 3月2日 議会運営委員会、本会議(会派代表質問)
- 3日 議会運営委員会、本会議(会派代表質問)
- 4日 議会運営委員会、本会議(一般質問)
予算特別委員会(正副委員長互選)
- 5日 予算特別委員会(総括)
- 6日 予算特別委員会(総務常任委員会所管事項)
- 9日 予算特別委員会(経済常任委員会所管事項)
- 10日 予算特別委員会(厚生常任委員会所管事項)
- 11日 議会運営委員会
予算特別委員会(建設常任委員会所管事項)
- 12日 本会議、予算特別委員会(総括)
- 13日 総務・経済両常任委員会
- 16日 厚生・建設両常任委員会
- 19日 議会運営委員会、本会議

令和8年2月19日に、議会防災訓練として、大雪により一部地域で道路が通行止めとなり、常任委員会時に委員会室に参集することが困難である委員がいるとの想定で、オンラインの方法による委員会運営の訓練を実施しました。

令和8年 第1回臨時会・第1回定例会

第1回臨時会は、令和8年1月23日の1日間の会期で開かれ、国の補正予算による交付金等を活用し、物価高騰による負担感が大きい子育て世帯および低所得世帯の生活を支援する「物価高対応子育て応援手当支給事業費」、「所得割非課税世帯向け物価高騰支援給付金給付事業費」などが計上された「令和7年度一般会計補正予算」などを審議しました。

第1回定例会は、令和8年2月24日から3月19日までの24日間の会期で開かれ、令和8年度当初予算および令和7年度補正予算などを審議しました。

臨時会・定例会の議決結果は、12ページをご覧ください

小樽市議会ホームページ



「市議会会議録」や「おたる市議会だより」などをご覧いただけます。

小樽市議会公式SNS

Facebook



Instagram



みらいの主な質問

【代表質問】



白濱 聡 議員

市長の政治姿勢について

問 2期目に掲げた「選ばれ
るまち」「安全安心なま
ちづくり、活気あるまちづくり、
将来を見据えたまちづくり」は
公約なのか、目指す政治姿勢な
のか、また、現在の目指す政治
姿勢は何か、示してください。

答 「対話の重視、経済と生
活の好循環、未来への備
え」は1期目から一貫して政
治姿勢としており、「選ばれる
まち」は目指すまちの姿として、
「安全安心なまちづくり、活気
あるまちづくり、将来を見据え
たまちづくり」は公約の柱とし
て、2期目に掲げたものです。

市長の考えるまちづくりとは

問 2期目の4年間どのような
な思いで、市政執行の基
本方針を作ってきたのか、また
今後、小樽のまちづくりについ
てどのような判断でかじを取っ
ていくのか、示してください。

答 基本方針については、本
市の魅力や強みを生かし
ながら、時代や社会の変化に対

応していく視点を持って、決め
てきたものです。今後のまちづ
くりについては、引き続き、人
や企業に選ばれるまちづくりを
進めるとともに、将来を見据え、
人口減少、少子化、公共施設の
老朽化など山積する課題を着実
に解決に導き、活力と持続力の
あるまちづくりを実現するため、
全力で取り組んでいきます。

自主財源を確保せよ

問 本市の自主財源確保に向
けた取組の現状と今後につ
いて、示してください。

答 ふるさと納税や企業版ふ
るさと納税の推進のほか、
ネーミングライツの導入などを
進めています。今後も、宿泊税
の導入や企業誘致の促進など地
域経済の底上げにより市税の増
収を図るなど、引き続き自主財
源確保に向けた取組を進めます。

ガントリークレーンを更新

問 更新に向けて、具体的に
検討すべきと考えますが、
見解を伺います。

答 電装品の交換など大規模
な延命化対策を図ってき
ましたが、近年の故障状況を踏
まえ、早急に検討する必要があ

るものと考えています。



【一般質問】



小池 二郎 議員

大雪等による臨時休校の対応

問 全道で災害級の大雪が予
測されている場合、市内
の地域差はほぼないと考えられ
るため、市教委が一律で臨時休
校の判断をすべきと考えますが、
見解を伺います。

答 小樽市学校管理規則では、
校長が臨時休校を決定す
ることができると規定されてい
ますが、市内全域で災害級の大雪
などが予測される場合は、市
教委と校長会が協議の上、全校
一斉に臨時休校の措置を取るこ
ともあります。

スポーツ環境の改善

問 総合体育館における、第
4体育室の雨漏りおよび
ボイラーの不具合への対処と、
ペビールームの必要性について、
見解を伺います。

答 11月に壁の隙間を塞ぐ修
繕を行いました。現在も水滴
の落下があるとの指摘があり、
引き続き調査しています。ボイ
ラーについては、不具合の原因
と思われる配管の亀裂を随時補
修しており、今後も定期的に点
検し、必要に応じて修繕したい
と考えています。ペビールーム
については、更衣室を授乳室や
おむつ替えの場所として提供す
るなど、状況に応じて柔軟に対
応していますが、設置に向けて
検討したいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽地域おこし協力隊員を増やすために
- ▽運河ロードレースの収支改善
- ▽ネーミングライツを活用せよ
- ▽市立病院の業務改善
- ▽休校等の給食のフードロスの取組
- ▽夏・冬休み期間の考え方
- ▽放課後児童クラブの休校時の開設
- ▽入船公園駐車場整備
- ▽ふるさと納税の強化
- ▽春先の路面管理
- ▽地域DMO交付金でデータ活用を
- ▽職人の会からてしごと職人の会へ
- ▽市と総連合町会連携でCL育成を
- ▽済生会まるっと！アプリ活用周知
- ▽住居表示で枝番を付番できるように

※…11 ページの用語解説をご覧ください。



中村 岩雄 議員

ACPの市民啓もう

問 医療崩壊の防止にもつな
がることから、ACPの
普及が必要であると考えますが、
市民への啓もうや医師会との連
携について、見解を伺います。

答 ACPの推進を図ってい
くためには、医療や介護
の現場に携わる従事者だけでは
なく、平素から市民の皆さんに
自分事として人生の最終段階に
おける医療やケアの在り方を考
えていただくことが必要と考え
ています。国の取組を注視しつ
つ、医師会などのご意見もお聞
きしながら、今後、行政として
行うことが望まれる取組につい
て検討していきたいと考えてい
ます。

第4体育室については、
11月に壁の隙間を塞ぐ修
繕を行いました。現在も水滴
の落下があるとの指摘があり、
引き続き調査しています。ボイ
ラーについては、不具合の原因
と思われる配管の亀裂を随時補
修しており、今後も定期的に点
検し、必要に応じて修繕したい
と考えています。ペビールーム
については、更衣室を授乳室や
おむつ替えの場所として提供す
るなど、状況に応じて柔軟に対
応していますが、設置に向けて
検討したいと考えています。



ACPの推進を図ってい
くためには、医療や介護
の現場に携わる従事者だけでは
なく、平素から市民の皆さんに
自分事として人生の最終段階に
おける医療やケアの在り方を考
えていただくことが必要と考え
ています。国の取組を注視しつ
つ、医師会などのご意見もお聞
きしながら、今後、行政として
行うことが望まれる取組につい
て検討していきたいと考えてい
ます。

公明党の主な質問

【代表質問】



横尾 英司 議員
よこお えいじ

市政の諸問題と市長の政治姿勢

問 若い世代が戻り、住み続けたいと思えるまち、子育て世帯が安心して暮らせるまち、観光だけに依存しない多様な産業構造、財政規律を保ちながら未来に投資できる市政など、こうした姿をどのように実現し、人口、雇用、財政指標など、具体的な目標水準をどのように描いているのか、見解を伺います。

答 具体的な数値目標は設定していませんが、移住・定住を促進し、将来の人口規模に適応したまちづくりを進めるとともに、企業立地を更に促進するほか、歴史文化、港など、本市の強みを生かしたまちづくりを更に力強く推進し、まちの活力を一層高めることで、訪れる人を魅了し、全ての市民が安心して住み続けたいと思える、活力と安心が調和するまちの実現に努めたいと考えています。

インフレ下の財政戦略

問 特定目的基金を「守りの財源」から「さらに生み出す財源」へどう進化させるかについて、戦略的な見解を示してください。

答 基金は最も確実かつ有利な方法により運用する必要があることから、債券運用など、そのリスクを十分考慮し、基金の効果的な運用に取り組んでいきたいと考えています。

プロを含めたスポーツチームの合宿誘致

問 アスリートとの交流や競技を間近で観戦することなどを通じたスポーツ振興、交流人口の増加を図り、宿泊や飲食をはじめとした市内での消費拡大による地域の活性化を推進し、持続可能なまちづくりを目指すことも可能かと考えますが、見解を伺います。

答 選手や観客などの滞在による宿泊や飲食需要の増加、情報発信による地域のPRなど、交流人口の増加や市内経済等への波及効果が見込まれるものと考えています。今後は、関係機関や庁内関係部署との連携を図りながら、スポーツを通じた好循環の創出に努め、持続可能なまちづくりにつなげていきたいと考えています。



夜間景観の形成の指針策定を

問 夜間景観整備基本構想または夜間景観形成指針の策定を検討し、官民一体となつた小樽らしい夜間景観の形成を体系的に進める考えはあるか、見解を伺います。

答 ライトアップ事業や令和版口マネスケイルミネーション事業の効果や課題などを整理するとともに、他都市の指針等の事例を調査・研究し、今後の対応について検討していきたいと考えています。

DMOによる観光地域づくり

問 市とDMOの役割分担や観光施策の推進体制を今後どのような姿に導こうとしているのか、示してください。

答 市は、観光基本計画の策定を通じて、政策の方向性やビジョンを示す役割を担い、DMOは、そのビジョンに基づいて観光地経営戦略を策定し、具体的な戦略を実行する役割であり、市長がリーダーシップを発揮し、市とDMOが連携して、持続可能な観光地域づくりを推進する体制を構築していきたいと考えています。

【一般質問】



白川 貴城 議員
しらかわ たかし

子どもの夢を応援する事業について

問 北広島市の子ども夢チャレンジ応援事業のような取組について、本市においてもまずはモデル的に検討を開始すべきではないかと考えますが、見解を伺います。

答 子どもたちの感性を育み、潜在的な可能性や能力を引き出す環境作りに引き続き取り組むことは重要と考えています。更なる支援の必要性については、他都市の事例も踏まえて検討したいと考えています。

感震ブレーカーの設置促進について

問 避難時の対応が困難な高齢者世帯等、設置メリツトの高い世帯を対象とした感震ブレーカー設置の補助制度の検討について、見解を伺います。

答 高齢者世帯等を対象とした補助制度の検討については、他都市の状況を注視していききたいと考えています。



【主な質問項目】

- ▽省エネ家電転換促進事業費について
- ▽クルーズ船について
- ▽企業誘致について
- ▽防災士資格取得助成事業費について
- ▽主権者教育について
- ▽職員が使用する名刺の公費負担について
- ▽災害時の子どもの支援について
- ▽道路・除雪通報サービスについて
- ▽市政アンケートモニター事業について
- ▽除排雪について
- ▽コミュニティバスの運行について
- ▽置き雪除雪を道道等も対象に
- ▽道路照明LED化事業費について
- ▽活力ある商店街づくり推進事業について
- ▽多文化共生広報広聴事業について

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

自由民主党の主な質問

【代表質問】



なかむら よしひろ
中村 吉宏 議員

【代表質問】 新年度の予算編成について

問 改選期となる年度の予算について、市長はどのような思いで編成したのか、所感を示してください。

答 市政執行の基本方針を「変化の時代にしなやかに応え、活力と安心が調和するまちづくり」とし、人口減少、少子高齢化、外国人住民と観光客の増加、デジタル化の進展など、社会の変化が加速する中、オーバーツーリズムやヒグマ対策、医療体制の確保、人手不足への対応など、直面する課題に対応し、本市の強みを生み出す活力と、暮らしの安心を両立したまちづくりを進めたいとの思いを持って編成しました。

【代表質問】 市役所本庁舎の整備について

問 小樽駅前周辺の商店街など「まちなか市役所」の整備について調査・検討してほしいと考えますが、見解を伺います。

答 業務の非効率化や管理コストの増加など課題が多

く難しいと考えますが、市の遊休施設や利用可能な民間施設を活用した行政機能分散化については、将来の財源負担を考慮し、新庁舎の規模・機能と併せて検討を進めたいと考えています。



【代表質問】 土地の規制の見直しについて

問 今定例会の市政執行方針で述べられた土地規制の見直しについて、具体的にどのように行うことを想定しているのか、示してください。

答 全市的な用途地域等の見直し作業に当たり、都市計画マスタープランや立地適正化計画等の方針に沿った見直しのほか、現況の土地利用や地域特性の変化等を踏まえつつ、住環境や事業環境に影響を及ぼさない範囲において、見直しの検討を進めたいと考えています。また、人口減少対策や企業誘致の観点も踏まえ、一定の規制緩和について検討することを想定しています。

【一般質問】 宿泊税の使途について

問 令和8年度予算における地域DMO交付金への宿泊税の充当額と、同交付金以外の宿泊税を財源とする主な事業およびその充当額を示してください。

答 地域DMO交付金における宿泊税の充当額については、6000万円です。同交付金以外の主な宿泊税の活用事業と充当額については、オーバーツーリズム対策事業費に3147万1000円、宿泊税導入経費に2023万1000円、旅行者安全確保整備事業費に949万円を充当しています。

【一般質問】 除排雪・道路の段差解消について

問 今年度市民から多く耳にしたロードヒーティング部分と圧雪部分の極度の段差について、今年度の対応と、次年度の対策に係る見解を示してください。

答 パトロールや市民からの通報により状況を確認し、交通量の少ない夜間に段差を削るなどの対応を行いました。大雪時は除排雪の進捗を優先したため、段差解消の対応が遅れる状況となりました。来期に向けては、受託業者と意見交換を行い、改善策について検討していきたいと考えています。

【一般質問】 小規模校と小規模特認校について



さとう なおみ
佐藤奈緒美 議員

問 本市で小規模特認校制度を取り入れる考えはあるか、見解を伺います。

答 導入予定はありませんが、忍路中央小学校と忍路中学校では、小規模校の特性を生かした教育を実施し、他の校区からの転入学を積極的に受け入れているため、現状の取扱いで対応できていると考えています。

【一般質問】 観光事業への市民の声の反映について

問 今後、第三次観光基本計画に向けて議論が交わされていくこととなりますが、市民の声をどのように反映してい

くのか、示してください。

答 昨年市民ワークショップを開催したほか、策定委員会に総連合町会や一般公募委員も参画しており、多様な関係者による議論を通じて、計画に反映したいと考えています。

【一般質問】 磯焼け対策と藻場再生について

問 藻場の再生のため、どのような事業に支援していただけるのか、示してください。

答 漁業者等で構成される小樽海づりクラブが実施するウニの密度管理による藻場の保全事業に対し、国や北海道とともに補助金を交付しているほか、令和7年度から藻類育成材を塗付した網やロープを設置し、藻類の育成経過を観察する取組を行う小樽市漁業協同組合に対し、補助金を交付しています。

【主な質問項目】

- ▽市内空き店舗の情報収集について
- ▽第3号ふ頭基部緑地について
- ▽地域DMO交付金について
- ▽外国人観光客への情報提供について
- ▽医療的ケア児レスパイト事業について
- ▽おたる子ども会議について
- ▽男女共同参画の市民意識調査経費について
- ▽市役所庁舎防犯カメラの設置について
- ▽経済安全保障を踏まえた機器調達について
- ▽市政アンケートモニター事業費について
- ▽タクシー事業者合併による台数減対策は？
- ▽銭函地区のコミュニティバスについて
- ▽雪寒道路と除雪費について
- ▽新小樽駅周辺整備の予定は？
- ▽小樽公園再整備の工事概要について

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

日本共産党の主な質問

【代表質問】



さかい たかひろ
酒井隆裕 議員

コミュニティバスについて

問 料金や運行ルート、ダイヤ案までほとんど決めて議会議論を経ず議案を提出したことは、議会軽視ではないかと考えますが、見解を伺います。

答 中央バス銭函・桂岡線と同等程度の利便性維持を前提に、令和9年4月からの運行に向けて予算を計上したものです。今後は、地域住民の意見を踏まえ、年内に料金やルート、ダイヤなどの運行に関する条例案の提出に向けて準備を進めていくこととしているため、詳細については、現時点で決定しているものではありません。

問 避難所となる学校体育館への空調設備設置は優先度が低いのか、見解を伺います。

答 市の公共施設への空調設備の整備については、今後に必要な施設が多いため、優先度を勘案しながら、学校体育館への設置についても検討を進めていきたいと考えています。

小学校給食は完全無償に

問 物価高騰対応重点支援地活用も含めて保護者負担を求めないことが必要と考えますが、見解を伺います。

答 臨時的な財源によらない、安定的な制度にすべきであると考えていること、また、中学生には保護者負担を求めていることから、義務教育期間全体を通じた負担の公平性を考え、地方創生臨時交付金は活用せず、基準額を超える分を保護者負担とすることとしたものです。



通級指導教室について

問 江別市でも、本市と同様、中学校では1校のみの設置ですが、担当教員が各中学校間の巡回指導を行うなどの工夫をしています。道内他自治体の取組を調査・研究してはどうかと考えますが、見解を伺います。

答 通級指導を通して学習や生活上の困難を改善する

ための教育を受ける機会は大切であることから、まずは、江別の取組も含め、他自治体の状況の把握に努めていきます。

【一般質問】



まつい まみこ
松井真美子 議員

リフト券補助で子どもに身近なスキー環境を

問 経済的な心配なくスキーを楽しむようリフト券購入の助成を検討してはどうかと考えますが、見解を伺います。

答 スキー授業にも活用できる校外学習費を各小中学校へ配当していますが、学校休業日における補助については、限られた予算の中で新たな予算を確保することになると、総合的に判断すると、現時点では難しいものと考えています。

小樽駅のエレベーター設置は急務

問 JR北海道との協議の結果、将来の設置に向けて引き続き協議していくこととして過去に答弁がありましたがいまだ設置されていません。設置が急がれますが、現時点でのJRと市長の見解を伺います。

答 これまでもJR北海道と協議してきましたが、JRとしては、現段階において、

設置の検討までは至っていないと伺っています。しかし、市長としては、高齢者等の円滑な移動の観点から、設置は必要であると認識しており、引き続き、早期の設置に向けて、JRと協議していききたいと考えています。



おぬき げん
小貫 元 議員

介護資格取得への支援事業に寄せられた意見は

問 令和7年度から、個人が支払った介護の資格取得に係る受講費用の一部を市が助成する「介護人材キャリアアップ支援事業」が始まりましたが、市に寄せられた意見と市長の評価を示してください。

答 利用者からは、受講費用の負担が減って助かるという感想、介護事業者からは、事業所等が支払った場合も助成の対象としてほしいといった意見がありました。介護人材の確保に効果があるものと認識していますが、事業開始初年度で利用が少数にとどまっており、更なる周知が必要と考えています。

主任ケアマネも支援の対象に

問 介護人材キャリアアップ支援事業において、実務研修以外に主任ケアマネジャー研修も対象とするよう、制度を拡充してはどうかと考えますが、見解を伺います。

答 居宅介護支援事業所へのアンケート調査やケアマネジャーの意見聴取の中で、資格取得のニーズを把握した上で、対象とすることで検討していききたいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽移住定住促進住宅取得補助拡大を
- ▽学校徴収金代行サービスについて
- ▽中学校少人数学級を国に先行して
- ▽道にも除排雪の財政支援要請を
- ▽道路への雪出しについて
- ▽小樽駅前広場の駐車場について
- ▽学校のトイレ改修を早期に
- ▽第2号ふ頭の整備計画は
- ▽DMO一人の人件費に1千万円
- ▽住吉町の地すべり対策急いで
- ▽特定利用港湾は、港の軍事利用
- ▽除排雪路線でじ樽なびで公開を
- ▽病院機能評価について
- ▽市立病院患者満足度調査について
- ▽市立病院職員満足度調査について

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

立憲・市民連合の主な質問

【代表質問】



しもがね 下兼 薫 議員

議案について

問 令和8年度に予定するヒグマ対策の概要について、示してください。

答 これまでと同様に、出沒情報に対する対応や、春期管理捕獲などの実施のほか、昨年策定した小樽市ヒグマゾーニング計画に基づき、人とヒグマの住み分けを行い、主に市街地に隣接する緩衝地帯に生息する個体を中心に、箱わなによる捕獲を強化することや、緊急銃猟の実施に備え、マニュアルに基づいた装備品の準備や机上または実地訓練を行うことなどを予定しています。

補正予算について

問 1月の大雪の影響で、中央心頭基部雪処理場が一時閉鎖となりましたが、閉鎖しなればならなかった状況と、閉鎖から解除までの経過を示してください。

答 1月上旬から複数回のまとまった降雪の影響で受入量が増加したことや、気温の

低下により、融雪が追い付かず、海面にも大きな雪山ができたことで、受入れが困難となり、一時的に閉鎖しました。閉鎖中においては、海面にできた雪山を可能な範囲で崩すとともに、場内の陸地に堆積させていた雪を海へ投入・かくはんして融雪を進めたことで受入可能な状況になり、閉鎖を解除しました。



※特定利用港湾について

問 小樽港を特定利用港湾の対象としたいという国からの打診について、当初、国への回答は昨年中に行うとしていましたが、住民運動や議会議論等もあつて判断を先に延ばすこととなったと考えます。令和7

年第4回定例会以降、国とどのようなやり取りをしたか、示してください。

答 これまでの国からの回答や、第4回定例会で生じた新たな不明点などを整理し、改めて国に確認する作業を進めています。

一般会計予算について

問 新総合体育館が完成するまでは、今の体育館を気持ち良く利用できるよう、環境整備の改善に努めてほしいと考えます。総合体育館施設等改修事業費として7500万円計上されており、1階および地階ト

イレの改修とありますが、改修内容を示してください。

答 1階および地階トイレの小便器および手洗いや、更新、大便器の洋式化、内壁および個室トイレの間仕切りの改修、1階トイレ配管の更新などを予定しています。

【一般質問】



おもの だいすけ 面野 大輔 議員

公式LINEについて①

問 小樽市公式LINEの令和7年度の年間運用経費の総額を示してください。

答 地方公共団体プランを利用しているため、経費は発生していません。



▲小樽市公式LINE友だち追加はこちらから

公式LINEについて②

問 京都府長岡京市や福岡県古賀市、青森県十和田市など、公式LINEを効果的に運用することで、職員の窓口業務や電話対応を大幅に削減している事例があります。本市では、公式LINE運用開始後、窓口や電話による問合せ対応時間の削減など、具体的な効果測定は行っているのか、示してください。

答 窓口や電話による問合せ対応時間の削減など、具体的な効果測定は行っていない。

問 小樽市公式LINEについて③

小樽市自治体DXに関する全体方針では、業務改善につながるようDXを推進する旨が記載されています。公式LINEの運用においても、業務改善につなげるため、業務負担に対する効果測定の指標を設けることなどを検討してほしいと考えますが、見解を伺います。

答 公式LINEの機能拡大のため、有料での運用を検討していきたいと思っております。その場合は効果測定が必要となることから、有料運用と併せて検討していきたいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽議案第27号について
- ▽空家等除却費助成事業について
- ▽歴史的風致維持向上計画について
- ▽観光基礎調査事業について
- ▽小中学校の標準授業時数について
- ▽博物館運河館の企画展について
- ▽高齢者の孤立防止と見守り施策
- ▽ケアマネの人材不足解消について
- ▽障がい者の権利擁護と後見人制度
- ▽市財政の見通しと健全化について
- ▽宿泊税の充当事業について
- ▽観光の意義の市民理解の促進
- ▽外国人居住者への対応について
- ▽消防本部の冬期間の消防活動
- ▽小樽コンシェルジュについて

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

令和8年度予算の概要

当初予算案を審議し可決しました

第1回定例会に提出された令和8年度予算案は、「変化の時代にしなやかに応え、活力と安心が調和するまちづくり」をテーマに、人口対策をはじめ、デジタル技術の活用やゼロカーボンの更なる推進など、喫緊の課題解決に向けた取組への重点的な予算配分の視点を持ちながら、必要な事業を厳選したものとなっています。議会では、予算特別委員会で審議の上、最終本会議において賛成多数により可決しました。

令和8年度予算の財政規模 (会計別対前年度伸び率)

※各年度、当初予算で比較

一般会計

680億9473万円

(2.9%)

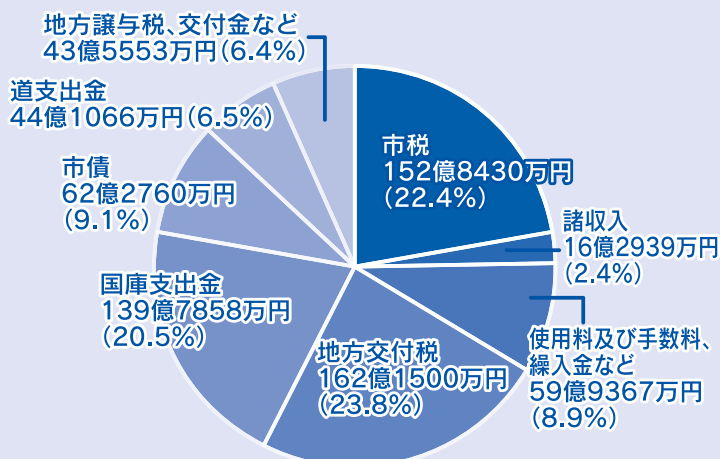
特別会計

港湾整備事業	6億4999万円 (11.3%)
水産物卸売市場事業	4210万円 (4.0%)
国民健康保険事業	121億9615万円 (▲2.9%)
介護保険事業	156億9484万円 (1.0%)
後期高齢者医療事業	29億6660万円 (13.8%)

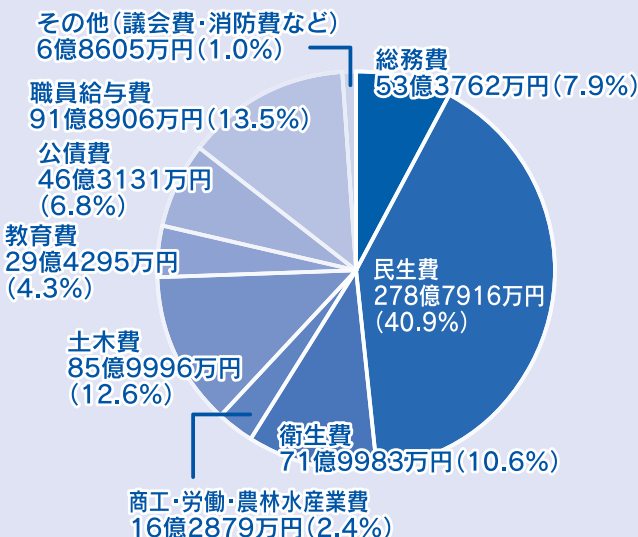
企業会計

病院事業	161億1265万円 (0.6%)
水道事業	56億7732万円 (4.6%)
下水道事業	68億7677万円 (▲1.9%)
産業廃棄物等処分事業	1億7065万円 (2.7%)
簡易水道事業	1億5435万円 (▲4.7%)

一般会計歳入 680億9473万円



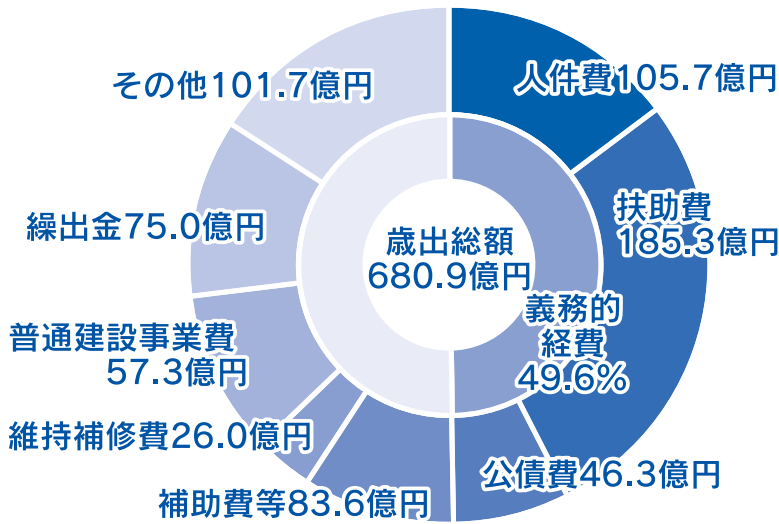
一般会計歳出 680億9473万円



小樽市の令和8年度一般会計予算額を1万円とすると、その使われ方は・・・

保育所、高齢者福祉、生活保護など 民生費 …… 4094円	市が借りたお金を返すための経費 公債費 …… 680円
職員の給与など 職員給与費 …… 1350円	学校教育や図書館、体育施設 教育費 …… 432円
道路、公園、港湾の維持整備、除雪など 土木費 …… 1263円	商工業や観光、雇用、農林水産など
保健所や葬斎場、ごみ処理など 衛生費 …… 1057円	商工・労働・農林水産業費 …… 239円
庁舎の維持管理、戸籍管理、選挙など 総務費 …… 784円	議会、消防など 議会費・消防費・予備費など …… 101円

一般会計歳出を経費の性質別（経済的性質に着目して分類）で見ると・・・



左のグラフのように、「人件費」「扶助費（社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などを支援するために要する経費）」「公債費」の3つの経費は、「義務的経費」と言われています。

この「義務的経費」は、家計に例えると、食費やローンの返済など、必ず支払わなければいけない経費で、この割合が大きくなると自由に使えるお金が少なくなり、財政に余裕がないことになります。

義務的経費の割合の推移

令和8年度	令和7年度	令和6年度
49.6%	49.9%	51.8%

※各年度の当初予算時点

令和8年度当初予算 主要事業

令和8年度の予算に計上された主な事業のうち、新規事業を中心に、最重要課題である「人口対策」をはじめ、本市の持続力向上につながる6つのまちづくりの視点から分類して紹介します。

人口対策

- 学校給食費保護者負担軽減事業費（小学校）
…………… 1億8004万円
新たに創設される給食費負担軽減交付金を活用し、令和8年度から小学校の給食費の保護者負担を大幅に軽減。
- 企業認知度向上支援補助金…………… 300万円
企業の認知度向上を図るために投資した工場見学の環境整備などにかかる費用の一部を補助。

活力を生み出すまちづくり

- 小樽港クルーズ誘致PR動画制作事業費 299万円
中心市街地に近いなどの地理的優位性や、観光スポットにアクセスしやすい小樽港の特徴を船社および旅行会社にPRする動画を制作し、クルーズ船の寄港促進および小樽港発着クルーズの利用促進を図る。
- 地域DMO交付金…………… 1億4371万円
地域DMOである小樽観光協会が観光地域づくりの司令塔として取り組む、戦略的なプロモーションやマーケティング、組織体制の整備等に要する費用について総合的に支援。

次世代を見据えたまちづくり

- 省エネ家電転換促進事業費…………… 5200万円
補助対象の省エネ家電等を購入した市民に対し、購入費用等の一部を補助することで、家庭におけるエネルギー費用の負担軽減と温室効果ガス排出量の削減を図る。
- 望洋サッカー・ラグビー場整備事業費…………… 3500万円
プロを含めたサッカー・ラグビーチームの夏合宿を誘致するため、天然芝生グラウンド（2面）をプロの使用にも対応できる状態に修繕・改良。

安全・安心なまちづくり

- 防災関係経費（旅行者安全確保整備事業費）
…………… 949万円
宿泊客や日帰り観光客に向けた災害備蓄品の整備に要する経費（令和8年度から順次）。
- ヒグマ対策事業費…………… 1705万円
増加するヒグマ被害への対応として、ゾーニング管理に基づく捕獲や緊急銃猟に必要な体制を整え、ヒグマによる人身被害の防止や農業被害の軽減を図る。

魅力を活かしたまちづくり

- 旧小樽倉庫ライトアップ事業費……………627万円
夜間観光の促進を図るため、歴史的建造物である旧小樽倉庫のライトアップを実施。
- 令和版口マネスクイルミネーション事業費…………… 615万円
歴史的建造物のライトアップを灯でつないで面的に整備するほか、新たに整備するエリアの検討等を目的としたワークショップや実証実験を実施。

暮らしを支えるまちづくり

- 重層的支援体制整備事業費（健康ポイント介護予防事業費）
…………… 30万円
北海道済生会ウエルネスタウン構想のウイングベイウォーキングと連携し、介護予防事業に参加した市民に対して一定のポイントを付与。
- コミュニティバス運行事業費…………… 927万円
バス路線廃止により交通空白地となる見込みの地域において、代替交通の導入により、地域住民の通勤・通学・通院等、日常生活に必要な公共交通手段を確保。

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

予算特別委員会の委員長報告より

委員長報告を通して、各会派の質疑・質問の概要をお知らせします。
委員会質疑等の詳細については、市議会ホームページで後日公開する会議録または小樽市議会公式 YouTube をご覧ください。

▼自由民主党小樽市議会議員会

●コミュニティバス運行事業費について

バス路線廃止の代替交通として新たに銭函地区でコミュニティバスが導入されますが、本市が運行するのと、民間バス事業者が運行し赤字分を市が負担するのとでは、どちらが市の財政負担が少ないと考えていますか。また、現在予定している料金や利便性で、しっかりとした利用が見込まれるか、さらには、市内のタクシー事業者に影響が出ないかなども考慮しながら、地域の方の期待に応えられる事業となるよう努めてほしいと思いますが、いかがですか。

●おたる子ども会議について

予算規模が4万3000円、開催は年1回という現状では、子供たちの声を広く聞く取組として十分とは言いがたいです。子供たちの市政参画や教育的意義の観点から、市には、募集人数の拡大や、複数回の開催など、

積極的な取組を検討してほしいと思いますが、いかがですか。また、現在、勤労青少年ホームで開催しているとのことですが、子供たちが市政を身近に感じるための体感の場として、議場や委員会室の活用を検討してほしいと思いますが、いかがですか。

●医療的ケア児レスパイト事業費について

医療的ケア児の家族から寄せられた負担軽減のニーズを受け、令和8年度から新たに医療的ケア児レスパイト事業を実施することですが、札幌市との連携枠組みの中で、家族の急病や冠婚葬祭などの緊急時に迅速な手続が行える体制になっていますか。また、看護師の確保に問題はありますか。今後もアンケート調査などを通じ、現場の声に丁寧に耳を傾けながら安全に進めてほしいと思いますが、いかがですか。

▼公明党小樽市議会議員団

●多文化共生広報広聴事業費について

国の補助金額や補助メニューが少ないことから、多くの自治体で多文化共生施策が後回しになっている中、地域おこし協力隊を利用して行う当該事業は、非常に良いアイデアです。市は、SNSを活用した外国語での市政情報発信などに取り組むとのことですが、将来的には、ホームページの多言語化、振り仮名機能の利便性向上など、市内に住む外国人に寄り沿った対応をしてほしいと思いますが、いかがですか。

●省エネ家電転換促進事業費について

節電効果の大きい省エネ家電の購入やLED照明へ切り替えた市民へ助成を行い、家庭におけるエネルギー費用の負担軽減と温室効果ガス排出量の削減を図るものであり、ゼロカーボンシティを進める本市にとって大変重要な取組と思いますが、事業の周知方法については、どのように考えていますか。対象となる家電

は、省エネ基準達成率100%を満たすものであり、その確認は購入時の値札や経済産業省のサイトでできることですが、一般の人には分かりにくいことも想定されます。省エネ家電への切替えが進むことは、CO₂排出量の削減効果も大きくなることから、広く制度を利用してもらうためにも、申請の煩雑さを軽減し、市民が利用しやすい制度にしてほしいと思いますが、いかがですか。

●保育士等就労定着支援事業費補助金について

本市は、保育士等就労定着支援事業費補助金や、小樽市保育士等人材バンクの設置を行い、保育士等の人材確保に注力していますが、まずは、市内潜在保育士の人数や離職理由の実態把握が必要だと考えます。本市ならではの地理的要因、処遇改善の必要性、事業規模などを把握するためにも、市には実態調査の実施を検討してもらいたいと思いますが、いかがですか。

▼みらい小樽市議会議員会

●地域おこし協力隊について

令和8年度予算では、ミッション型の地域おこし協力隊員3名を採用する事業が示されていますが、他の自治体では、フリーミッション型の協力隊員が非常に人気高いと聞き、特に本市のような知名度の高い自治体においては、より大きなアドバンテージが期待できることから、市には今後、フリーミッション型の導入に向けた検討を進めてほしいと思いますが、いかがですか。

●地域DMO交付金について

昨年3月の観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン改正により、観光地経営戦略の策定や指標の高度化が求められたことを踏まえ、今後、DMOは必要なデータを計測し、本市に適した取組を示してい

く必要があると考えますが、戦略データマーケティングでは、どのような調査を実施し、分析するデータを取得しますか。

●放課後児童クラブについて

民間委託となり、利用料の無償化や開設時間が拡大されたことで、利用しやすくなったことは評価しますが、保護者が児童を車で迎えに行く時間の報告を児童クラブに電話連絡する際、話し中でなかなか電話がつかず、保護者が限られた駐車スペースに長時間駐車することとなり、迷惑となるケースがあるとのこと。駐車スペースを拡充することは難しいため、せめて電話回線の増設を検討してほしいと思いますが、いかがですか。

▼日本共産党小樽市議会議員団

●コミュニティバス運行事業費について

銭函桂岡線の廃止に伴うコミュニティバスの運行については、今後、地域住民の意見を踏まえながら詳細を決定するとのことですが、周辺の地域住民からは運行本数が少ないなど、非常に外出しづらい現状が訴えられていることから、住民の意見・要望を丁寧に聞いて運行に反映してほしいと思いますが、いかがですか。

修学旅行費など、保護者の経済的負担が大きいことに鑑みれば、給食費の数か月分や一部負担など、負担軽減を中学校にも拡大するべきではありませんか。

●学校給食費について

本市では、来年度から国の給食費負担交付金を活用し、小学校の給食費負担を軽減する取組が進められている一方、中学校においては保護者負担が継続されている状況であり、公平性の観点から疑問を感じます。中学校の給食費は小学校よりも高額であり、制服代や

●病院事業会計について

一般会計からの繰出しに加え、令和8年度の診療報酬は3.09%の引上げとなりますが、これでは物価や人件費の上昇分をカバーするには不十分であるとのこと。経営を圧迫している一因には、現在の消費税制度から生まれる控除対象外消費税の額が、約5億円にも上っていることがあることから、国に対し、医療機関が支払った消費税を全額控除することができ、患者に消費税負担を求めない「ゼロ税率」の実施を強く求めるべきと思いますが、いかがですか。

▼立憲・市民連合小樽市議会議員会

●外国人居住者への対応について

新年度予算には外国人介護人材確保支援事業費や多文化共生広報広聴事業費といった、市内に住み、働いている外国人を支援するための予算が計上されていますが、近年、外国人居住者が増えてきていることから、市はしっかりと対応し、市民との共生社会を作ってほしいと思いますが、いかがですか。

に直結するデジタル機器の導入支援を行ったり、高齢化が進んでいるケアマネジャーを含めた介護事業者の事務負担軽減のため、行政手続の簡素化やオンライン化などのDXを進めたりすべきと考えますが、市として支援策や改善策はありますか。

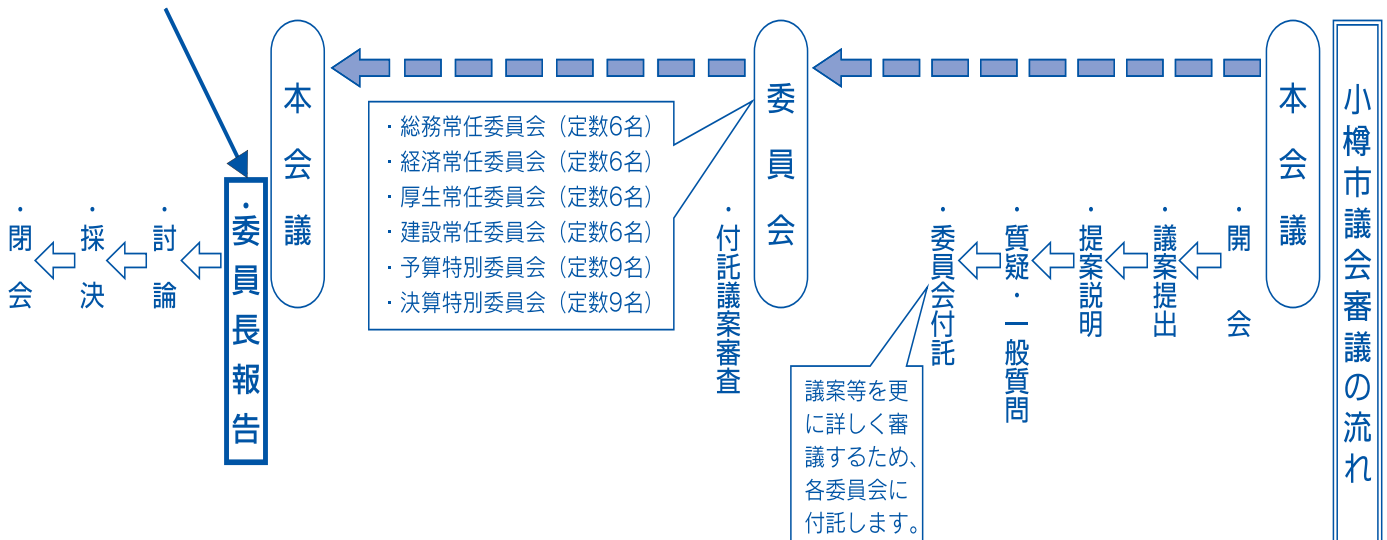
●介護人材の確保について

本市の介護現場では、約半分の事業所が人材不足を訴えていることから、都市部への人材流出を防ぐため、市内で働き続ける理由となる処遇改善、就職奨励金や家賃補助などの市独自の定着支援策が必要と思いますが、市はどのように考えていますか。また、限られた人数で質の高いケアを維持するため、現場の負担軽減

●ロードヒーティング更新事業費について

本市のロードヒーティング長寿命化計画では、更新に当たっての熱源方式は、メンテナンスが容易であることなどから電気方式を基本としていますが、他の地域では、地中熱を利用したヒートポンプ方式を採用している例もあります。これは従来の方式に比べ、消費電力の3倍から4倍の熱エネルギーを生み出すといわれていることから、本市においても導入を検討してほしいと思いますが、いかがですか。

委員長報告とは、委員会付託された議案等が各委員会で審議され、定例会最終日の本会議において、委員会での質疑・質問の概要および審議の経過と結果について各委員長が報告することです。



数字で見る小樽市議会

小樽市議会が昨年（令和7年）中に行った会議の開催状況や議案の審議状況などを集計しました。会議の傍聴者数などと併せてお知らせします。

○本会議の開催状況

会議名	会 期	会期日数
第1回臨時会	1月24日	1日
第1回定例会	2月25日 ～3月21日	25日
第2回定例会	6月10日 ～6月30日	21日
第3回定例会	9月2日 ～9月24日	23日
第4回定例会	12月3日 ～12月22日	20日

○委員会の開催状況

委 員 会		開催日数
常任委員会	総 務	4日
	経 済	4日
	厚 生	4日
	建 設	5日
特別委員会	予 算	19日
	決 算	5日
議会運営委員会		26日

○議案等の審議状況

区 分		可決	否決	計
市長提出議案	条 例	38	0	38
	予算議案	36	0	36
	決算議案	12	0	12
	その他の議案	38	0	38
	計	124	0	124
議員提出議案	条 例	3	4	7
	意見書・決議	26	5	31
	その他の議案	0	1	1
	計	29	10	39
総 計		153	10	163

- 会議傍聴者数（延べ人数） 本会議52人 委員会22人
- インターネットでの議会中継（生中継・録画中継）の視聴回数 23,014回
- 市議会だより発行部数 1回当たり33,000部（年4回）

※「可決」に、同意、認定、承認を含む。

第4回小樽市議会「市民と議員の懇談会」実施報告書を作成しました

前号でもお伝えしましたが、令和7年11月15日に、第4回小樽市議会「市民と議員の懇談会」を開催し、公募した子育て中の市民の皆様と、「人口減少対策～子育て世代が暮らしやすくなる小樽のまちづくり」をテーマとして、班に分かれてグループ学習による意見交換を行いました。この懇談会の実施報告書を作成しましたので、市議会ホームページで公開しています。掲載ページは、右のQRコードからアクセスすると、ご覧いただけます。



用語解説

- ACP（アドバンス・ケア・プランニング）（2ページ）
もしものときのために、自分が望む医療やケアについて事前に考え、家族や医療従事者等と話し合い、共有する取組のこと。
- DMO（2・3・4・5・8・9ページ）
地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔を担う組織のこと。
- CL（コミュニティリーダー）（2ページ）
市と小樽市総連合町会が共同で町会の会長や役員を対象に研修を実施し、養成している地域活動のリーダーのこと。
- 感震ブレーカー（3ページ）
地震発生時に揺れを感知し、自動で電気を遮断する防火器具のこと。
- 小規模特認校制度（4ページ）
小規模で特色のある学校を特認校として認定し、一定の条件下、他の校区からの入学を認める制度のこと。
- レスパイト（4・9ページ）
介護や育児など日常的にケアを行う家族の疲れを軽減するための休息のこと。
- 雪寒道路（4ページ）
「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法」（雪寒法）に基づき指定された道路のこと。
- 特定利用港湾（5・6ページ）
自衛隊・海上保安庁が、平素から必要な港湾を円滑に利用できるよう、港湾管理者との間で「円滑な利用に関する枠組み」を設けた港湾のこと。
- でじ樽ナビ（5ページ）
地図上で市の様々な情報を閲覧できる公開型地理情報システムのこと。
- 小樽市ヒグマゾーニング計画（6ページ）
人とヒグマの住み分け、ヒグマによる被害の防止・対策を効果的に実施するための計画のこと。

第1回臨時会に提出された議案等の議決結果について

全会一致で可決・承認となったもの

区分	件名
市長提出	令和7年度港湾整備事業特別会計補正予算 専決処分報告〔令和7年度一般会計補正予算（衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費に係る予算）〕

態度の分かれたもの

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	みらい	共産	立・市	
市長提出	令和7年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	可決

第1回定例会に提出された議案等の議決結果について

全会一致で可決・承認となったもの

区分	件名
市長提出	令和7年度一般会計補正予算
	令和7年度特別会計補正予算（国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業）
	市営住宅整備基金条例を廃止する条例案
	医療法施行条例の一部を改正する条例案
	小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例の一部を改正する条例案
	建築物における駐車施設の附置に関する条例の一部を改正する条例案
	消防団条例の一部を改正する条例案
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案
	火災予防条例の一部を改正する条例案
	工事請負契約について〔旧保健所・旧総合福祉センター解体工事〕
	過疎地域持続的発展市町村計画について
	専決処分報告〔令和7年度一般会計補正予算（除排雪関係経費）〕

態度の分かれたもの

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	みらい	共産	立・市	
市長提出	令和8年度一般会計予算	○	○	○	×	○	可決
	令和8年度特別会計予算（港湾整備事業、水産物卸売市場事業、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業）	○	○	○	×	○	可決
	令和8年度企業会計予算（病院事業、水道事業、下水道事業、産業廃棄物等処分事業、簡易水道事業）	○	○	○	×	○	可決
	農業委員会委員の定数に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	可決
	行政手続条例の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	可決
	職員給与条例等の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	可決
	資金基金条例の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	可決
	手数料条例の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	可決
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	可決
	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例案	○	○	○	×	○	可決
	国民健康保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	可決
	工事請負変更契約について〔第3号ふ頭基部緑地整備その2工事〕	○	○	○	×	○	可決
議員提出	令和8年度一般会計予算に対する修正案	×	×	×	○	×	否決
	非核港湾条例案	×	×	×	○	○	否決

意見書

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	みらい	共産	立・市	
意見書	非核三原則の堅持を求める意見書(案)	×	○	×	○	○	可決
	イラン情勢の平和的解決へ向け、外交努力を尽くすよう求める意見書(案)	○	○	○	○	○	可決

第1回定例会において可決された意見書は、関係省庁等へ提出しました。 賛成○ 反対× 継続審査△
 (自民=自由民主党、公明=公明党、共産=日本共産党、立・市=立憲・市民連合)

編集後記

「おたる市議会だより」をお読みいただきましてありがとうございます。とございます。

色とりどりの花木が目を楽しませてくれる季節になりました。つい数か月前の大雪の苦勞がうそのようです。これからまたやってくるであろう酷暑前のひととき、爽風を楽しみたいと思います。

小樽市議会では、1月に第1回臨時会が行われ、物価高への支援事業として子育て世帯や低所得者世帯への給付金事業に加え、「おたるプレミアム付商品券事業費」が予算計上されました。

また、3月の第1回定例会では、小学校の給食費保護者負担軽減事業、宿泊税など新たな事業のほか、新年度の予算について審議されました。議会の様子はYouTubeで見ることが出来ます。身近な議員にご意見やご要望などお聞かせいただければ幸いです。

■広報委員

委員長 横尾 英司
委員 松井真美子

中鉢 淳二
平戸 理史
下兼 薫

松井真美子

■小樽市議会ホームページ（小樽市議会中継）

小樽市ホームページ <https://www.city.otaru.lg.jp> のトップページ「市議会」からアクセスしてください。

■「おたる市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。

宛先（〒047-8660）小樽市花園2丁目12番1号 小樽市議会事務局 TEL 22-2847 FAX 22-2315 E-mail:gikai@city.otaru.lg.jp